

# なかつか 亮

## 7月17日、19日 品川区が説明会 滝王子通り道路拡幅等について

品川区は、6月26日(火)の建設委員会において、滝王子通り避難道路の機能強化に関し、近隣住民への説明会を実施すると報告。7月始めには、滝王子通りに隣接する方に、説明会開催のお知らせを配布しました。

区は「滝王子通り」について、どのような検討を進めているのでしょうか。これまでの区の検討経過を報告します。

### 避難道路に指定

区は、今回の説明会について「滝王子通りは、大地震など大火の危険が迫ったときに、荏原地区と大井地区の人々が大井競馬場まで避難する『避難道路』に指定されている」とし「より安全に避難するために必要な道路幅員など、避難道路としての機能強化するための提案をする」と、下記の日程で、説明会を行うと話します。



### 道路の拡幅

品川区の本年度の事業概要で、避難道路は原則幅員15m以上とし、これに該当する道路がない場合は、7.5m以上とした上で、「滝王子通りの現況幅員は約7.2mで、幅員が不足」「沿道の整備が課題」と指摘しています。

ある商店主は「一本橋商店街のように、道路の拡幅が結果として商店街が町から消えることにつながるのではと思う心配だ」と話します。裏へ

### 説明会 (滝王子通り避難道路の機能強化に関する説明会：区主催)

7月17日(火) 19時～20時30分 又は

7月19日(木) 19時～20時30分

会場：伊藤学園 (伊藤中学校3階視聴覚室)

区は沿道の方に「どちらか都合の良い日の出席を」と、呼びかけています。

担当窓口：まちづくり事業部都市開発課

5742-6947 (住環境整備担当)

# これまでの経過…

## 平成17年度から検討開始。本年度、住民に提案、説明スタート

### 2年間の検討

品川区が広域避難場所への避難道路の確保について、動き始めたのは、平成17年度からです。

平成17年度・18年度の2年間にかけて、避難道路の機能強化として検討経費が計上され、無電柱化や沿道建築物の不燃化などの検討が始まりました。

今年2月には、濱野区長は滝王子通りについて「道路拡幅や沿道不燃化など機能強化を検討」と発言。本年度は9百円の検討費用を計上しました。

### 商店の営業、町の姿は…

滝王子通りには、滝王子商店街や原町商店街があり、道路拡幅と商店の営業や生

活の継続などの問題も、考えられます。

また、道路の拡幅について一般的には「建物の立替時におけるセットバック」「建て替え時における耐火住宅の義務化」「マンションなどの高さ規制が緩和されると建物の高層化が加速」などの問題も考えられます。

### 町の声・声・声

私は商店主や近所の方に話を聞いてみました。

ある商店主は「避難道路としても狭いと思うが、日常的にも、この道路は歩道部分が狭く、ダンブやバスが通ると歩行者はとつても危険だ」と話します。

また別の方は



「店の営業は続けたいが、継続といっても、今の仕事がいままで続けられるのか。消費税が上がったら、もうやっていけないのが実態です」。近くに暮らす高齢者は「マンションが増え、一方で商店が減っている。この歳では、歩いて通えるところにある商店街は、私の暮らしに欠かせない。商店街の活気を願うばかりです」と話します。

私は、滝王子通りの問題は、まさに「町づくり」だと思います。災害に強い町づくりとは…この町の将来像は…。いよいよ説明会が始まります。

なかつか亮

## 日本共産党街頭演説のお知らせ

7月17日（火）午後3時30分～

大井町駅前イトーヨーカ堂前にて

弁士：市田忠義（日本共産党書記局長）

テレビでもおなじみの市田さんが訴えに来ます。お気軽にご参加下さい。

